



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第10号

2004. 10. 1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県芸北町にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

- 八幡湿原再生協議会（仮称）について中国新聞で報道
- 第5回臥竜山麓自然再生事業検討協議会の議事録が公開
- 中国新聞にインタビュー記事が掲載

活動報告

- 鳥類相調査
- 植生調査
- 深入山の植物

観察会案内

- 湿原の復元プロジェクト・ワークショップ
- サツキマスの産卵観察会

花だより

- ヤマラッキョウ
- ススキ
- カキツバタ

お知らせ

八幡湿原再生協議会（仮称）について中国新聞で報道されました (2004.9.8)

「八幡湿原再生事業（仮称）」における検討協議会の委員を広島県が募集しています。このことについて中国新聞で紹介されました。

第5回臥竜山麓自然再生事業検討協議会の議事録が公開されました (2004.9.21)

2004年8月17日に芸北町民文化ホールで開催された「臥竜山麓自然再生事業」の第5回検討協議会の議事録はこちらでご覧いただけます。

【広島県：議事録】

<http://www.pref.hiroshima.jp/kaigi/gijirokuindex.html>

中国新聞にインタビュー記事が掲載されました (2004.9.26)

9月26日の中国新聞の朝刊で「八幡湿原（広島県芸北）再生できるか」という、しらかわへのインタビュー記事が掲載されました。記事はこちらでもご覧いただけます。

【中国新聞 大型インタビュー】

<http://www.chugoku-np.co.jp/kikaku/interview/In04092601.html>

活動報告

鳥類相調査

開催日時：9月12日(日)9:30～

講師：上野 吉雄

主催：西中国山地自然史研究会

協力：高原の自然館、芸北町民文化ホール

台風18号があちこちの道路をふさぐ中、ある人は迂回して、ある人は前日からと、参加者16人のみなさんとも、しっかり来て頂きました。ところが、折からの強い風でネットにかかったのはホオジロが一羽。それでも、ちょうど換羽中の個体を目の前に、鳥の生理について解説して頂きました。参加者からも「普段の双眼鏡を通した観察で得られる、羽毛の塊でふかふかしてそうといった感覚とは違い、血肉のある生物といった認識を得られる良い観察会だった」との感想を頂きました。足にリングを付けて放鳥した後は、歩きながらの観察です。今回見たり、声を聞いたりしたのは、アオジ、ウグイス、エナガ、カケス、コゲラ、ゴジュウカラ、ツバメ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、メジロ、モズ、カラ sp.、キツツキ sp. の14種でした。期待された渡り途中の鳥や、湿地生の鳥は観察できませんでした。別の見方をすると、今の土嶽は、こうした鳥にとって利用しにくい環境にあると言えます。今後、広島県の自然再生事業によって、どのように環境が変化していくのかが注目されます。

※※※ 注意 ※※※

許可無く野鳥を捕獲することは、法により禁じられています。絶対にやめましょう。



講師の上野先生には、前日のうちにバンディング用の「かすみ網」を設置していただいた。



千町原に設置されたネット。さて、鳥は入ってくれるかな・・・



かすみ網で鳥を捕獲することは、許可が無ければできない。今回のデータも全国調査として蓄積される。



そして観察会当日、千町原でネットにかかったホオジロ。



持ち方もコツがあるようで、先生の手の上でおとなしくしていた。



捕まったホオジロには申し訳ないが、じっくりたっぷり見せてもらった。



ちょうど換羽の時期で、中央尾羽が抜けていた。よく見ると、既に新しい羽根が生えてきていた。



実物を示しての解説は、どんな本よりも分かりやすく、詳しい。



ラインセンサスが終わった後に、もう一度ネットを確認。しかし新たな捕獲は無し。

活動報告

湿原復元プロジェクト・秋の植生調査

開催日時：9月19日(日)9:30～

主催：西中国山地自然史研究会

協力：高原の自然館、芸北町民文化ホール

雨の植生調査ほど嫌なものはありません。気分が滅入るばかりか、データの質にまで影響するような気がします。今回も天候を気にしながら当日を迎えたのですが、なんとか無事に雨は待ってくれました。前回の教訓から、事前にプロットの位置を探して目印を付けていたのですが、それでも見つけれないプロットもありました。ただ、今回は5回目ということもあり、経験者が多かったことも手伝って、非常にスムーズに調査が進んだように感じます。実験地を設置したことによる影響が直接出ているかどうかは今後の解析次第ですが、植生調査後に現地を踏査したところ、水が供給されるようになった場所ではヨモギ・ノイバラ・キンミズヒキ・ススキなどが衰退していました。ただし、ハルガヤだけは残っていて、我が物顔に繁茂していました。実際に湿原再生事業が始まった時には、ハルガヤの動態に注目する必要があるそうですね。



過去の調査票を見ながら、目印の杭を見つけ、調査をしていく。



調査区内のすべての種をリストアップし、被度・郡度・高さを測っていく。地道な作業だ。



はじめに、復元活動がはじまった経緯と行われてきた調査を説明。



比較的良好な湿原植生が残っている場所もある。



調査地に入るとプロの顔.



自然館に帰ってからは、恒例の同定大会.



調査を終えて、フリートーク。刈り取りの重要性が再認識された.



シダの同定にはルーペが登場する.



あぜ波によって水を供給する機能は維持され、ヨモギ・キンミズヒキの衰退が確認された.



今回、植生調査に参加したみなさんです。調査が終わって満足そうな顔が頼もしい！



急な斜面をゆっくりゆっくり登る。



秋の七草のひとつ、キキョウ。雄しべをしっかりと閉じているこの子は、まだ咲いたばかり。



ドングリひとつとっても、いろいろなことが分かる。



取り囲まれたマツムシソウ。



シコクママコナ



牛にとまる蠅のように山を登る。

観 察 会 案 内

● 湿原の復元プロジェクト ワークショップ

2002年から始めた私たちの活動、湿原の復元プロジェクトも、3年目を終えました。昨年は広島県が事業として着手し、2004年11月からは八幡湿原再生協議会が新体制で発足、2006年度には事業着手と、様々なことが動いています。2005年度中には、実際の再生手法を決定しなければなりません。今回のワークショップでは、検討協議会に対して具体的な提言を行うべく、意見を集約したいと思います。ぜひ参加し、八幡湿原の将来についてご意見をください。

開催日時：10月16日（土）9：30～
集合場所：高原の自然館
準備：筆記用具、メモ、山を歩ける服装
定員：30名（必ず予約をしてください）

● サツキマスの産卵観察会

稲刈りの終わったこの時期、八幡の柴木川には、アマゴが聖湖でマス化したサツキマスが遡上してきます。本来なら海で大きく生長するところが、ダム湖の建設によりサツキマスの生活史も変わってしまいました。また、最近ではブラックバスの放流などにより、ますます問題は複雑になっています。サツキマスと産卵床を観察しながら、川の環境について考えてみませんか？

開催日時：10月24日（日）9：30～
講師：内藤 順一
集合場所：八幡高原センター
準備：双眼鏡、筆記用具等（川の上から見るので、長靴等は不要です。子供にもオススメです。）
定員：30名（必ず予約をしてください。）
参加料：1,000円（ただし、会員は無料）

花 だ よ り

次第に秋の色が濃くなる頃には、キク科の花が目立つようになります。山の緑も次第に茶色を帯びてきて、花のシーズンもそろそろおしまいです。

【ヤマラッキョウ】紫の花が多く咲くこの時

期にあつて、造形も美しい、花火のような花。

【ススキ】秋の象徴だが、ススキの原は少なくなつた。芸北では千町原、雲月山など。

【カキツバタ】毎年、この時期にも開花するが、台風の影響か今年はいつになく見事。

— インターネット版の紹介と購読移行のお願い —

菊尾電波塔はe-mailでも発行されています。印刷版と同じ情報が毎月あなたのメールアドレスに届きます。パソコンでe-mailをお使いの方ならどなたでも無料で申し込みができます。まずは高原の自然館ホームページ、メールマガジンのコーナーをご覧ください。また、ホームページからダウンロードできるpdfファイルは、郵送している紙版に比べ、鮮やかなカラー写真を見たり印刷したりすることができます。そこで、高原の自然館では紙版（郵送）からインターネット版への購読移行をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

【高原の自然館】<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>

2004年は台風の多い年でしたがみなさんの所には被害はありませんでしたか？千町原では、ヤドリギをたくさん付けたポプラが折れてしまいました。自然の力とはいえ、見慣れた景観が、たった一晩で変わってしまうのはやはりさみしいものです。新たにポプラを補植して修景しようという話もすでに出ています。人の文化が作った風景を大切にすることも必要かもしれませんね。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡芸北町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>
nature@town.geihoku.hiroshima.jp